

自然条件に即した効果的な防災対策・危機管理対策・土地利用計画に寄与することを目的に、液状化等の自然災害リスクと関連が深い明治期の低湿地データを整備・提供しています。

【概要】

- 人工改変があまり行われていない時期に作成した明治期の地図から、河川や湿地、田、芦葦(あしよし)の群生地などの区域を抽出してデータ化しています。
- 三大都市圏及び一部の政令指定都市・県庁所在地は公開済です。今回、神戸市など35地区を新たに公開します。



かつて水域だったところ



液状化と関連が深い地形を抽出し、地理院地図上で重ね合わせ表示。



配色	名称
	砂礫地
	泥地
	泥炭地
	湿地
	干潟・砂浜
	河川、湖沼、海面
	田 (水田、陸田)
	深田
	塩田
	草地
	荒地
	ヨシ (芦葦)
	茅
	堤防

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う液状化の被害事例



出典：我孫子市液状化対策検討委員会資料



明治期の低湿地データ
ホームページ